

はじめに

このたびは、「SoftBank 941SC」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank 941SC をご利用の前に、「クイックスタート」、「お願いとご注意」および「取扱説明書（本書）」をご覧ください。正しくお取り扱いください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。
- SoftBank 941SC は、3G 方式と GSM 方式に対応しております。

ご注意

- ・ 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- ・ 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- ・ 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先(☎P.15-33)までご連絡ください。
- ・ 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

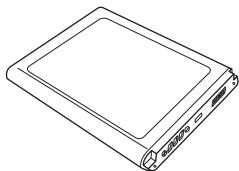
本書の最新版は、ソフトバンクモバイルのホームページよりダウンロードできます。
<http://www.softbank.jp/mb/r/support/941sc/>

お買い上げ品の確認

SoftBank 941SC 本体のほかに、次の付属品がそろっていることをお確かめください。付属品は、オプション品としても取り扱いしております。

付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先(☎P.15-33)までご連絡ください。

電池パック【SCBAW1】



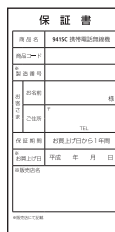
クイックスタート



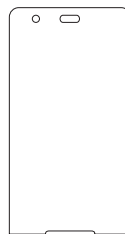
お願いとご注意



保証書



ディスプレイ保護シール



- 941SC の充電には、ソフトバンクが指定した充電器(オプション品)を使用してください。
- 941SC では microSD™ / microSDHC™ メモリカードに対応しています。ご利用にあたっては、市販の microSD™ / microSDHC™ メモリカードを購入してください。
- 本書では、microSD™ / microSDHC™ メモリカードを「メモリカード」と記載しています。
- Samsung New PC Studio は、SAMSUNG ホームページ(<http://jp.samsungmobile.com/pc/lineup/941/download.html>) からダウンロードしてご利用いただけます。

メモ

A series of horizontal dotted lines for writing notes.

本書の 構成

941SC をお使いになるための準備や基礎的な知識、基本的な共通操作をまとめて説明しています。必ずお読みください。

941SC の代表的な機能を、章単位でまとめて説明しています。
お使いになりたい機能の章をお読みください。

941SC で利用できるその他の便利なツール（道具）やサービスについて説明しています。

941SC のセキュリティを強化する機能を説明しています。

941SC でのデータの管理方法について説明しています。

データ通信やパソコン接続、データのバックアップについて説明しています。

941SC を使いこなすためのカスタマイズ方法について説明しています。

941SC についての資料や各種情報、索引をまとめています。

準備／基礎知識	1
共通機能／共通操作	2
電話	3
メール	4
インターネット	5
テレビ	6
カメラ／静止画編集	7
メディアプレイヤー	8
エンタテインメント	9
ツール	10
セキュリティ	11
データフォルダ／メモリ	12
通信／バックアップ	13
カスタマイズ	14
資料／付録	15



最初に
「クイックスタート」を
お読みください。

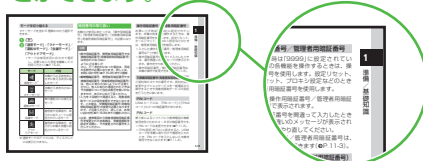
機能の探しかた

パラパラとめくって探す

本機の新しい魅力を発見しましょう。

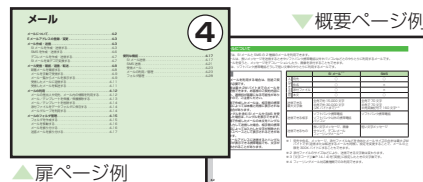
各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

ページの端にはサイドインデックスが付いています。目的の章をすばやく確認することができます。



- 各ページでは上の例のように、章の番号とタイトルが書かれています。本書を閉じていても、章の区切りがわかりやすくなっています。

章の始まりには、扉ページが付いています。区切りの目安にしましょう。



▲扉ページ例

- 章の冒頭などには、その章で説明する機能やサービスの内容をまとめた概要ページがあります。ここで全体像をつかんでください(一部ない章もあります)。

説明ページのレイアウトはいくつかのパターンに分かれています。それぞれのパターンの意味を覚えておけば、必要な箇所だけを読むことができます。

●基本操作パターン



機能やサービスの基本操作を説明しているページです。章や項目の前半にあります。

●応用操作パターン



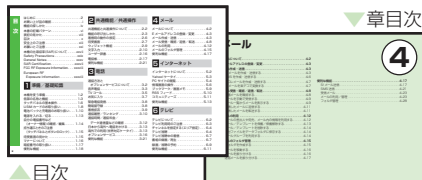
機能やサービスの応用的な操作を説明しているページです。章の後半にあります。

●設定操作パターン



本機の設定変更を説明しているページです。カスタマイズの章にあります。

全体像が一覧できる「目次」と、章内の内容がわかる「章目次」を活用しましょう。



- 「目次」には、この取扱説明書の章構成と各章内の見出しが記載されています。また、各章の扉ページに入っている「章目次」は、章内の内容が詳しく記載されています。目的に応じて使い分けてください。

用語と目的機能で引ける3つの「索引」で目的の機能や用語をすばやく見つけましょう。



- 本機内の用語がいろいろお順に並んでいる「用語索引」と、「登録する」「消去する」などの目的別にまとめた「目的別索引」、応用操作のある機能をまとめた「便利な機能索引」を「資料／付録」の章に掲載しています。ご利用ください。

メニューなどの項目の意味や操作を調べるときは、「機能一覧」がおすすめです。



- 「資料／付録」の章の「機能一覧」は、本機のメニュー構造に沿って、各項目の掲載ページを記載しています。操作中に気になる項目があれば、ここからすぐにジャンプできます。

画面に表示されるアイコンの意味を知りたいときは、「ディスプレイ」をご覧ください。



- 「準備／基礎知識」の章にある「ディスプレイ」では、ディスプレイに表示されるアイコンの意味を掲載しています。知らないアイコンが表示されたときは、すぐに確認しましょう。

目的の機能や用語を探す

いろいろな方法で、検索が行えます。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

表示やアイコンの意味を探す

気になる項目やアイコンを調べましょう。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

本書の記載パターン

基本操作パターン

各機能の基本操作をわかりやすく説明しています。

6
基本操作

データ放送を利用する
テレビでは、録音・音声に加えてデータ放送を利用できます。データ放送では、に表示される説明に従って操作することで番組に関連した情報入手したり、各で番組にアクセスするなど、さまざまな利用が可能です。
データ放送の利用方法は、番組により異なります。

録音
• データ放送の視聴には通線料がかかります。ただし、データ放送で録音・放送方向サービスを利用するとき、サービス料は別途発生しサービス料をとる必要などは、通線料がかかります。

テレビ視聴中にデータ放送を
をタップ で項目を
で「選択」

• データ放送、放送局サービスによってインターネットに接続するかどうかは画面が表示されます。データ放送の放送データを受信できないときは、画面がかわりますが、データ放送サービスでインターネットを利用しサービスを利用するときは、通線料がかかります。

TV リンクを利用する
TV リンクの登録操作は番組によって異なります。詳しくはデータ放送の情報を確認してください。

TV リンクを登録する
① データ放送を行っている番組で、「番組情報サイト」をテレビリンクに登録などの項目を選択
• 現在表示するデータ放送により異なります。

TV リンクを表示する
② メニュー→「TV」→「TV リンク」→TV リンクを選択→「はい」
• テレビ画面でくその他→「TV リンク」→TV リンクを選択→「はい」でもTV リンクを表示できます。

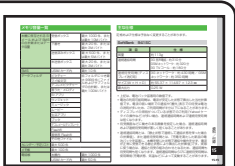
使いこなしチェック
③ 確認
④ 確認
⑤ 確認
⑥ 確認
⑦ 確認
⑧ 確認
⑨ 確認
⑩ 確認
⑪ 確認
⑫ 確認
⑬ 確認
⑭ 確認
⑮ 確認
⑯ 確認
⑰ 確認
⑱ 確認
⑲ 確認
⑳ 確認
㉑ 確認
㉒ 確認
㉓ 確認
㉔ 確認
㉕ 確認
㉖ 確認
㉗ 確認
㉘ 確認
㉙ 確認
㉚ 確認
㉛ 確認
㉜ 確認
㉝ 確認
㉞ 確認
㉟ 確認
㊱ 確認
㊲ 確認
㊳ 確認
㊴ 確認
㊵ 確認
㊶ 確認
㊷ 確認
㊸ 確認
㊹ 確認
㊺ 確認
㊻ 確認
㊼ 確認
㊽ 確認
㊾ 確認
㊿ 確認

① テレビの視聴中に Bluetooth® 対応のスマートフォンとペアリングしたい
② 視聴中の番組を録音したい
③ 視聴中の番組を静止画で残りたい
④ TV リンクを登録したい
⑤ TV リンクの情報を登録したい
⑥ 番組詳細を確認する (SP P.14-19)
⑦ 番組詳細を設定する (SP P.14-19)
⑧ 放送局データを削除する (SP P.14-19)
⑨ 番組内でディスプレイメニューに番組情報画面を表示するかどうかを決定する (SP P.14-19)
⑩ 放送局データを削除する (SP P.14-19)
⑪ 番組内で4:3の映像を拡大表示するかどうかを設定する (SP P.14-19)
⑫ 番組内で4:3の映像を拡大表示するかどうかを設定する (SP P.14-19)
⑬ 画面の明るさを設定する (SP P.14-19)
⑭ 画面の明るさを設定する (SP P.14-19)
⑮ 画面の明るさを設定する (SP P.14-19)
⑯ 音声の録音を設定する (SP P.14-19)
⑰ 音声の録音を設定する (SP P.14-20)
⑱ 音声出力を設定する (SP P.14-20)
⑲ テレビ視聴中の音声、アラームの動作を設定する (SP P.14-20)
⑳ 設定時間でテレビが消えるようにする (SP P.14-20)

設定 この機能をカスタマイズして使いたいとき

操作にあたってのご注意
• 本書は、特にことわりのない限り、待受画面 (P.2-7) からの操作を中心に説明しています。

詳しい仕様を知りたいとき
「資料/付録」の章の「メモリ容量一覧」と「主な仕様」をご覧ください。件数や時間など、詳細な仕様を確認することができます。



使いこなしチェックを活用しましょう
このページで説明している機能に関する代表的な応用操作や設定項目を紹介しています。この機能をもっと使いこなしたい方におすすめです。

便利 この機能のいろいろな応用操作をしたいとき

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

設定操作パターン

各機能のカスタマイズ方法を表形式で説明しています。

ダイヤルボタンに関する設定	
【前提】 <メニュー>→<Yahoo!>→ダイヤルボタン→ダイヤルボタンが設定	
プロキシを設定する	【設定項目】 On 「プロキシ設定」→検索番号欄番号を入力→[On] / Off 設定の[On] / [Off] ・プロキシなしが既定のときは、続けてプロキシなしに帰ります。
プロキシのURLを設定する	【設定項目】 URL 「プロキシ設定」→検索番号欄番号を入力→プロキシURLに*PアドレスまたはURLを入力 ・プロキシ設定がOnのときのみに設定できます。
プロキシのポート番号を設定する	【設定項目】 Port 「プロキシ設定」→検索番号欄番号を入力→ポート番号→ポート番号を入力→<完了> ・プロキシ設定がOnのときのみに設定できます。
プロキシを通じないサイトのURLを入力する	【設定項目】 Excluded Sites 「プロキシ設定」→検索番号欄番号を入力→[例外サイト URL]→<追加>→PアドレスまたはURLを入力 ・プロキシ設定がOnのときのみに設定できます。
ホームページを設定する	【設定項目】 Home Page 「ホームページ設定」→URLを入力

テレビの設定	
予約時間お知らせに関する設定	
【前提】 <メニュー>→<TV>→設定→予約時間お知らせ	
予約時間のアラームを設定する	【設定項目】 On / Off 「アラーム」の[On] / [Off]
予約時間のアラーム音を設定する	【設定項目】 Alarm Sound 「アラーム」→「アラーム音」の[設定]を選択→ファイルを選択 ・ ■ をタップするとファイルが再生されます。
予約時間の音量を設定する	【設定項目】 Volume 音量棒で音量を選択
予約時間のバイブレーションを設定する	【設定項目】 Vibration 「バイブ」→[設定]を選択 ・ ■ をタップすると、動作ボタンを操作できます。
予約時間のライトで知らせる	【設定項目】 Light 「ライト」の[On] / [Off]
アラームの通知時間を設定する	【設定項目】 Alarm Time 「アラーム通知時間」→項目を選択

共通操作

表内の各操作に共通する操作を示しています。
この共通操作を行ったあと、続けて表内の操作を行ってください。

応用操作パターン

各機能の応用操作を統一フォーマットで簡単に説明しています。

使いこなしチェックで記載されている機能のほかにも、さまざまな応用操作が記載されています。

使いこなしチェック	便利な機能
【前提】 (SP 14-14) ● 予約内容を確認したい ● 予約内容を修正したい ● メモリ残量を確認したい	テレビ機能 テレビ機能 既定しているチャンネルの番組予約を録画予約したい
【前提】 ● 予約時間のアラームを設定する (SP 14-14) ● 予約時間のアラーム音を設定する (SP 14-14) ● 予約時間の音量を設定する (SP 14-14) ● 予約時間のバイブレーションを設定する (SP 14-14) ● 予約時間のライトで知らせる (SP 14-14) ● アラームの通知時間を設定する (SP 14-14) ● アラームの通知音を設定する (SP 14-14) ● アラームの通知時間を変更する (SP 14-14) ● 録画の存在を設定する (SP 14-20)	【前提】 テレビ画面で番組情報 ■ 録画の時間を確認するとき ・録画予約→番組を選択 ・既定の機能を選択し場合は、すぐに録画が開始されます。 ■ 録画予約するとき ・[録画予約]→番組を選択 ・予約→録画 ■ メモリ残量を確認するとき ・メモリ残量→[メモリ]→[メモリカード]
	エリアの設定を確認・編集したい テレビ画面でその他→チャンネル設定→エリア設定 ■ エリアを設定する エリアを選択 ■ 新しいエリアを追加する ・既定のエリアを選択→[追加]→エリアを選択→既定の場所を選択→カーソルをエリアを選択→既定の場所を選択 ・エリアは10件まで登録できます。 ■ エリア内のチャンネル情報を更新する ・チャンネルを選択→[更新] / [追加] / [変更] / [追加]を選択→既定の場所を選択→既定のチャンネルを選択 ・既定の場所を選択しているチャンネルは更新できません。既定のチャンネルが変更している場合は、既定のチャンネルのチャンネル名に置き換えます。
	■ エリア名を変更する エリアを選択→[編集] ■ エリアを削除する <録画>→エリアを選択→[はい] ■ エリア内のチャンネル情報をリセットする <その他>→[設定]→[リセット]→はい ■ エリアの録画情報を確認する <その他>→[録画]→エリアを選択

操作中の画面でツールバーから選択できる操作などはここで説明しています。

表記の見かた

本書では、「SoftBank 941SC」を「本機」と表記しています。あらかじめご了承ください。

また、主にお買い上げ時の状態を基準に説明しているため、設定を変更された場合、本機の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

ディスプレイの表記と本機のイラストについて

記載している画面は、表示されている内容や番号などが実際の画面と異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。

本書のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

本書では、画面を見やすくするために、待受画面の壁紙の設定を「なし」にした状態で掲載している場合があります。

確認／警告メッセージについて

操作中、本書に記載していないメッセージが表示されることがあります。確認や警告のメッセージが表示されたときは、そのメッセージをよく読んで内容をご確認ください。

ボタンとタッチパネル操作の表記について

本書では、本機のボタンをすべて記号で表記しています。「各部の名称と機能」(●P.1-3)を参照してください。また、本機のディスプレイはタッチパネルになっており、指で軽く触れる(タップする)ことでさまざまな操作ができます。

タッチパネルの操作については、次のように表記しています。

ツールバー

ディスプレイの最下段(ツールバー)には「電話」「メール」のような機能や操作のメニューが表示されます。



ツールバー

メニューをタップして内容を実行する操作は、簡略化した表記方法で説明しています。

ツールバー操作の表記

◀電話▶

└ ツールバーに触れる(タップする)操作を示す

タッチパネル操作

本機では、指でディスプレイに触れたり、触れたまま指を動かしたりなど、さまざまな操作のしかたができます。タッチパネル操作について詳しくは、「タッチパネルの基本操作」(●P.1-6)を参照してください。

メニュー操作の表記について

メニュー操作は、簡略化した表記方法で説明しています。

メニュー操作の表記

① <<メニュー>>→「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙」

目的の項目をタップする操作を繰り返すことを示す

メインメニュー操作について詳しくは、「メインメニューから機能
を呼び出す」(P.2-4)を参照してください。

「選んで」について

項目や文字列の選択画面などで目的の位置にカーソルを移動させる
ことを、この取扱説明書では「選んで」と表記します。

はじめに	2
お買い上げ品の確認	i
機能の探しかた	iv
本書の記載パターン	vi
表記の見かた	viii
目次	x
安全上のご注意	xiii
お願いとご注意	xxi
本機の比吸収率(SAR)について	xxvii
Safety Precautions	xxix
General Notes	xxxv
SAR Certification	xxxvii
FCC RF Exposure Information	xxxviii
European RF Exposure Information	xxxviii

1 準備／基礎知識

本機を使う準備	1-2
各部の名称と機能	1-3
タッチパネルの基本操作	1-6
USIM カードのお取り扱い	1-8
電池パックと充電器のお取り扱い	1-10
電源を入れる／切る	1-13
自分の電話番号など (オーナー情報)の確認／編集	1-14
持ち運ぶときのご注意 (タッチパネルとボタンのロック)	1-15
待受画面の見かた	1-15
マナーについて	1-16
暗証番号の取り扱い	1-17
便利な機能	1-18

2 共通機能／共通操作

共通機能と共通操作について	2-2
機能の呼び出しかた	2-3
着信時の動作の設定	2-6
待受画面	2-7
ウィジェット機能	2-9
文字入力	2-10
ユーザー辞書	2-16
電話帳	2-17
便利な機能	2-21

3 電話

通話方法と オプションサービスについて	3-2
音声電話	3-3
TV コール	3-5
お気に入り	3-7
緊急電話発信	3-8
簡易留守録	3-8
着信拒否	3-9
通話履歴／ランキング	3-10
通話時間／通話料金／ データ通信量などの確認	3-12
日本から海外へ電話をかける	3-13
海外での利用(世界対応ケータイ)	3-13
オプションサービス	3-15
便利な機能	3-21

4 メール

メールについて	4-2
E メールアドレスの登録／変更	4-3
メール作成・送信	4-3
メール受信・確認／返信／転送	4-8
メールの利用	4-12
メールのフォルダ管理	4-16
便利な機能	4-18

5 インターネット

インターネットについて	5-2
Yahoo! ケータイ	5-3
PC サイトの閲覧	5-4
情報画面の操作	5-6
ブックマーク／画面メモ	5-9
RSS フィード	5-10
コミュニティーズ	5-11
便利な機能	5-13

6 テレビ

テレビについて	6-2
テレビ利用時のご注意	6-3
チャンネルを設定する(エリア設定)	6-4
テレビ視聴	6-4
テレビ視聴中の着信	6-7
番組の録画／再生	6-7
録画／視聴の予約	6-9
便利な機能	6-11

7 カメラ／静止画編集

カメラ／静止画編集について	7-2
静止画撮影	7-3
動画撮影	7-10
静止画加工	7-13
お絵かき	7-13
フォトライブラリ	7-15
プリント	7-19
便利な機能	7-20

8 メディアプレイヤー

メディアプレイヤーについて	8-2
音楽／動画のダウンロード	8-3
音楽再生	8-4
動画再生	8-6
プレイリスト	8-8
動画配信サイト	8-9
ストリーミング	8-10
便利な機能	8-11

9 エンタテインメント

エンタテインメントについて	9-2
S! アプリ	9-3
ゲーム	9-3
S! 速報ニュース	9-4
無料コンテンツ	9-5
S! コンテンツストア	9-6

S! 情報チャンネル	9-6
S! ともだち状況	9-7
電子メディアビューア	9-11
ブックサーフィン [®]	9-11
バイオリズム	9-12
ウィジェット	9-13
便利な機能	9-20

10 ツール

ツールについて	10-2
アラーム	10-3
カレンダー	10-4
予定リスト	10-6
おサイフケータイ [®]	10-7
家計簿	10-9
S! GPS ナビ	10-10
ストップウォッチ	10-11
タイマー	10-12
世界時計	10-12
おやすみタイマー	10-12
電卓	10-13
メモ帳	10-13
バーコード／名刺読取	10-14
通貨・単位換算	10-16
ボイスレコーダー	10-17
ドキュメントビューア	10-18
見せかけ着信	10-19
辞書	10-20
便利な機能	10-20

11 セキュリティ

セキュリティ機能について	11-2
暗証番号の変更	11-3
本機のロック	11-3
機能別のロック	11-7
お買い上げ時の状態に戻す (メモリ消去／リセット)	11-7
便利な機能	11-9

12 データフォルダ／メモリ

データフォルダについて	12-2
ファイルの確認	12-4
ファイル／フォルダの管理	12-7
メモ리카ード	12-10
メモリ容量を確認する	12-12
便利な機能	12-12

13 通信／バックアップ

通信／バックアップについて	13-2
Wi-Fi	13-3
赤外線通信	13-5
Bluetooth [®]	13-8
IC データ通信	13-12
USB 接続	13-14
メモ리카ードバックアップ	13-15
S! 電話帳バックアップを利用する	13-17
便利な機能	13-19

14 カスタマイズ

本体機能の設定	14-2
音／バイブレータ／ 着信ライトの設定	14-3
画像／文字表示の設定	14-4
マナーモードの設定	14-5
通話の設定	14-6
電話帳の設定	14-9
メールの設定	14-9
インターネットの設定	14-14
テレビの設定	14-18
カメラの設定	14-20
メディアプレイヤーの設定	14-22
エンタテインメントの設定	14-24
セキュリティの設定	14-25
メモリの設定	14-26
外部接続の設定	14-27

15 資料／付録

故障かな？と思ったら	15-2
ソフトウェアを更新する	15-6
機能一覧	15-6
文字入力用キー一覧	15-11
記号一覧	15-12
絵文字一覧	15-14
メモリ容量一覧	15-15
主な仕様	15-15
保証とアフターサービス	15-21




索引	15-22
目的別索引	15-29
便利な機能索引	15-31
お問い合わせ先一覧	15-33

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} のみの発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
- ※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
- ※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示します。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIM カード、充電器（オプション品）、メモリカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）



危険

本機に使用する電池パック・充電器（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。



指示

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。電話機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。



分解禁止

濡らさないでください。

水やベットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。



水濡れ禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。



禁止

本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。



禁止

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



警告

本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れてたり、電磁調理器（IH 調理器）の上に置いたりしないでください。



禁止

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。



指示

ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ® 対応携帯電話をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください。（IC カードロックを設定されている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください。）

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。



禁止

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。



指示

- 1 コンセントから充電器を持ってプラグを抜いてください。
- 2 本機の電源を切ってください。
- 3 やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子、外部メモリーカードホルダに水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。



禁止

ショートによる火災や故障などの原因となります。



注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。



禁止

落下して、けがや故障などの原因となります。パイプレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかご注意ください。



指示

けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて



危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認したうえで、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。

失明などの原因となります。



指示

警告

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。

皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

電池パックの使用・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。

異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

注意

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。

電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。



禁止

本機の取り扱いについて

警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

交通事故の原因となります。

乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。



禁止

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・
その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など



指示

注意

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。



指示

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。



指示

心臓に影響を与える恐れがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。



指示

落雷や感電の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。



禁止

目に影響を与える可能性があります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。



禁止

視力低下などの傷害を起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。



禁止

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。



指示

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

本機で使用している材料については、「使用材料、表面処理」(P.15-16)を参照してください。

本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。



禁止

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。



禁止

本人や周囲の人たちに当たったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。



指示

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。



禁止

デジタルテレビを視聴するときは、充分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

視力低下につながる可能性があります。



指示

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。



指示

本機の画面はガラスを使用していますので、ひびが入った場合は、使用しないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

本機の画面に強く触れたり、強くタッチしないでください。

指などで軽く触れるだけで反応します。また、強くタッチすると画面が傷つくことがあります。



禁止

充電器（オプション品）の取り扱いについて



警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもって火災や故障などの原因となります。



禁止

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。



禁止

- AC アダプタ（オプション品）：AC100V～240V
（家庭用 AC コンセント専用）

注意

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災・故障の原因となります。



電源プラグ
を抜く

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってコンセントからプラグを抜いてください。

感電・発煙・火災の原因となります。



電源プラグ
を抜く

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。

火災の原因となります。



指示

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

感電・ショート・火災などの原因となります。



指示

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。

感電や故障などの原因となります。



濡れ手禁止

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

お手入れの際は、コンセントから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。

感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

充電器をコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。



指示

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

けがや故障の原因となります。



禁止

医用電気機器近くでの取り扱いについて

- ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会〔平成9年4月〕）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。



警告

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカー等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



指示



指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



指示

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。



指示

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより本機またはメモ리카ードに登録したデータ（電話帳、画像、サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受（ぼうじゅ）にご注意ください。**
本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。

- 傍受とは

無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中は、本機を絶対にご使用にならないでください。
- 本機をご使用になるために、禁止された場所に駐車しないください。
- 本機を車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。
機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

機能制限について

- 機種変更または解約した場合、本機では次の機能が利用できなくなります。
 - カメラ
 - メディアプレイヤー
 - テレビ など
- 本機を長期間お使いにならなかった場合、上記の機能が利用できなくなる可能性があります。

お取り扱いについて

- **本機は防水仕様にはなっていません。水に濡らしたり、湿度の高い所に置かないでください。**
 - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
 - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
 - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかかめたりすると、洗面所に落としたり、水で濡らす原因となります。
 - 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光が当たらないように、バッグなどに入れてください。
 - 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が本機の内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。
- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録、設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は 5 ~ 40℃の範囲でご利用ください。極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所での使用、保管は避けてください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 本機を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪の日など、湿気の多い場所でご使用になるときは、水に濡らさないように十分ご注意ください。

- 本機は精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 本機のディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようにご注意ください。
- ステレオヘッドフォンの中には開放型ものがあり、音が外に漏れることがあります。周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。
 - 本機をズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
 - かばんなどに入れるときは、重たいものの下にならないようご注意ください。
- 本機の充電端子／外部接続端子に指定品以外の商品は取り付けしないでください。誤動作を起こしたり、本機を傷めることがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り外してください。データの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失、変化、破損などの恐れがあります。
- 市販のディスプレイ保護シール・アクセサリなどをタッチパネルに付着して使用すると、タッチパネルの反応が悪くなったり、正しく動作しないことがあります。

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的のみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作人格権などをはじめとする著作権等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等を行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

登録商標について

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。

Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:

4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773
5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
5,710,784 5,778,338

- TV コール、ナビアプリ、S! GPS ナビ、生活アプリ、位置ナビ、S! メール、PC サイトブラウザ、S! 速報ニュース、S! アプリ、S! ともだち状況、S! 電話帳バックアップ、デコレメール、フィーリングメール、楽デコ、S! 情報チャンネル、お天気アイコン、ともだちメール、タダデコ、タダコミ、タダゲーム、タダ歌ばん、安心速隔ロック、ケータイ Wi-Fi はソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」 および 「Yahoo!」 「Y!」 のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。
- This product contains ACCESS Co., Ltd.' s NetFront Internet browser software. NetFront is a trademark or registered trademark of ACCESS Co., Ltd. in Japan and in other countries.

ACCESS NetFront®

- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

- Contains Macromedia® Flash® Flash Lite™ technology by Adobe Systems Incorporated.
- Copyright © 1995-2005 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
- Macromedia, Flash, Macromedia Flash, and Macromedia Flash Lite are trademarks or registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and other countries.
- この製品では、株式会社アプリックスが Java™ アプリケーションの実行速度が速くなるように設計した JBlend™ が搭載されています。
- Powered by JBlend™ Technology. JBlend および JBlend ロゴマークは、株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- Powered by JBlend™, ©1997-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.
- JBlend および JBlend に関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- Java および Java に関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- 「着うた®」「着うたフル®」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- microSD™、microSDHC™ は SD アソシエーションの商標です。
- Bluetooth is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc. The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Samsung Electronics is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



JBlend™



- Wi-Fi Certified® とそのロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- Powered by SwiftDecoder™ Copyright ©1996-2007, Omniplanar, Inc. All Rights Reserved.
- Windows、Windows Media は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 「BookSurfing」は株式会社セルシス、株式会社ボイジャー、株式会社インフォシティの登録商標です。
- Windows は Microsoft Windows operating system の略称として表記しています。
- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触 IC カードの技術形式です。FeliCa はソニー株式会社の登録商標です。
- ♪ は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
- 「待ちうた®」は、KDDI 株式会社の登録商標です。
- 「Twitter」の名称、ロゴは、Twitter, inc. の登録商標です。
- その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。



Bluetooth® 機能について

Bluetooth® 機能の利用時に、データや情報の漏洩により発生した損害につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 使用上の注意事項

本機の Bluetooth® 機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

- 1 Bluetooth® 機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、Bluetooth® 機能の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth® 機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
- 3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクモバイルお客さまセンター

ソフトバンク携帯電話から 157(無料)

※一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先一覧」

(☎P.15-33)を参照してください。

周波数帯について

- 本機の Bluetooth® の周波数帯は以下のとおりです。
 - この無線機器は、2.4GHz 帯を使用します。変調方法として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 1.5 ~ 5m 以下です。与干渉距離は、周囲の環境により変化します。

2.4FH1

⋮

Wi-Fi（無線 LAN）について

無線 LAN（以降「Wi-Fi」と記載）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、第三者に情報を盗み見られてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- 電気製品・AV・OA 機器などの近くでは利用しないでください。通信速度の低下や通信不可、雑音などの可能性があります。（特に電子レンジ使用時は、影響を受けることがあります。）
- 複数のアクセスポイントが存在するときは、正しく検索できないことがあります。

■ 使用上の注意事項

本機の Wi-Fi の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

- 1 Wi-Fi を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
- 2 万一、Wi-Fi の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Wi-Fi の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
- 3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクモバイルお客さまセンター

ソフトバンク携帯電話から 157(無料)

※一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先一覧」

(☎P.15-33)を参照してください。

周波数帯について

- 本機の Wi-Fi の周波数帯は以下のとおりです。
この無線機器は、2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS/OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は 40m 以下です。

2.4DS4/OF4

■ Bluetooth® との同時利用について

Wi-Fi (IEEE802.11b/g) は、Bluetooth® と同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、近くで Bluetooth® 機器を利用したり、本機の Bluetooth® が「On」になっていると、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。接続に支障があるときは、Bluetooth® 機器の利用を中止したり、本機の Bluetooth® を「Off」にしてください。

- 本機の Wi-Fi で設定できるチャンネルは 1-13 です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんのでご注意ください。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は事前に各航空会社へご確認ください。
- Wi-Fi 機能は日本国内でのみご使用ください。

コミュニティーズについて

本機の機能のコミュニティーズを通常の接続(3G 接続)で利用する場合、次のことにご注意ください。

- 3G 接続時、動画は最大 300KB までアップロードできます。
- Picasa / YouTube をご利用する場合は、あらかじめ Wi-Fi 接続でログインしてください。ログイン後は、3G 接続時でも静止画 / 動画をアップロードできますが、3G 接続ではログインはできません。

本機の比吸収率 (SAR) について

本機の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、これが 2 W/kg *の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

すべての機種種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの証明(技術基準適合証明)を受ける必要があります。

この携帯電話機「941SC」も財団法人テレコムエンジニアリングセンターから技術基準適合証明を受けており、SARは 0.212 W/kg です。この値は、技術基準適合証明のために財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。

個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/>

* 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第 14 条の 2) で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SAR ポリシー」について

- * ボディ(身体) SAR とは: 携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率(SAR) のことです。
- * *比吸収率(SAR): 6 分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。当社では、ボディ SAR に関する技術基準として、米連邦通信委員会(FCC)の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。
- * * *身体装着の場合: 一般的な携帯電話の装着法として身体から 1.5 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から 1.5 センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクモバイルのホームページからも内容をご確認いただけます。

<http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html>

「米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCC で定められている SAR の許容値は、1.6W/kg となっています。測定試験は機種ごとに FCC が定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は 0.25 W/kg です。

身体装着の場合：この携帯電話機「941SC」では、一般的な携帯電話の装着法として身体から 1.5 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCC の電波ばく露要件を満たすためには、身体から 1.5 センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。上記の条件に該当しない装身具は、FCC の電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association(CTIA) のホームページ

<http://www.phonefacts.net>(英文のみ)

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機「941SC」は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。携帯機器における SAR 許容値は 2W/kg で、身体に装着した場合の SAR の最高値は 0.258 W/kg^{*}です。

SAR 測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関のホームページ

<http://www.who.int/emf>(英文のみ)




※ 身体に装着した場合の測定試験は、FCC が定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

Safety Precautions

Read safety precautions before using handset.

- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- SoftBank Mobile is not liable for any damages resulting from use of this product.

These labels indicate the degree of risk from improper use. Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

 Danger	Great risk of death or serious injury ^{*1} from improper use
 Warning	Risk of death or serious injury ^{*1} from improper use
 Caution	Risk of injury ^{*2} or damage to property ^{*3} from improper use







*1 "Serious injury" includes blindness, wounds, low/high heat burns, electric shock, bone fractures, poisoning or other physical harm with aftereffects, or requiring hospitalization or ongoing hospital visits.

*2 "Injury" includes wounds, burns, electric shock or other physical harm not requiring hospitalization or ongoing hospital visits.

*3 "Damage to property" includes damage to home, furniture, livestock, pets, etc.

These symbols indicate prohibited or compulsory actions.

Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

	Prohibited actions
	Disassembly prohibited
	Exposure to liquids prohibited
	Use with wet hands prohibited
	Compulsory actions
	Unplug Charger from outlet

Handset, Battery, USIM Card, Charger (Sold Separately) & Memory Card (Sold Separately)

Danger

Use specified battery and Charger (sold separately) only.

Non-specified equipment use may cause battery to leak, overheat, burst or ignite, and may cause Charger to overheat, ignite, malfunction, etc.



Compulsory

Do not disassemble, modify or solder handset or related hardware.

May cause fire, injury, electric shock or malfunction. Battery may leak, overheat, burst or ignite. Modifying handsets is prohibited by the Radio Law and subject to a penalty.



Do Not
Disassemble

Do not expose handset or related hardware to liquids.

Do not leave handset or related hardware wet after exposure to water, pet urine, etc., and do not charge wet battery. May cause overheating, electric shock, fire, injury or malfunction. Use them in an appropriate place properly.



Avoid Liquids
Or Moisture

Do not charge battery in or expose handset or related hardware to extreme heat (e.g., near fire or sources of heat, in direct sunlight, inside vehicles, etc.).

May cause warping/malfunction; battery may leak, overheat, ignite or burst. Handset or related hardware may become hot to the touch, leading to burn injuries, etc.



Prohibited

Do not force battery/Charger into handset. Check the direction and retry.

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.



Prohibited

Warning

Do not place handset, battery or Charger in/ on ovens, microwave ovens, pressure cookers, induction stoves or other cooking appliances.

Battery may leak, overheat, burst or ignite. Handset/Charger may overheat, emit smoke, ignite, malfunction, etc.



Prohibited

Keep handset off and Charger disconnected near gas stations or places with fire/explosion risk.

Handset use near petrochemicals or other flammables may cause fire/explosion. Turn off the power for the Osaifu-Keitai compatible handset when using it at gas stations (if IC card lock is enabled, turn off the power after releasing the lock).



Compulsory

Do not apply strong shocks or impacts.

Do not drop/throw handset or related hardware. Battery may leak, overheat, burst or ignite, resulting in fire, electric shock, malfunction, etc.



Prohibited

If there is unusual sound/odor, smoke or any other abnormality:

Continued use may cause fire, electric shock, etc.; grasp plug to disconnect Charger from connector.



Compulsory

Keep liquids (water, pet urine, etc.) or conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.) away from Charging terminals, External Device or Memory Card Holder.

May cause short circuit, resulting in fire, malfunction, etc.



Prohibited

Caution

Do not place handset or related hardware on unstable surfaces.

Handset or related hardware may fall, resulting in injury, malfunction, etc.; be especially careful when Vibration is set or during Charge.



Prohibited

Keep handset and related hardware out of infants' reach.

Infants may choke from swallowing handset or related hardware or be injured, etc.



Compulsory

If your child is using handset and related hardware, explain all instructions and supervise usage.

Misuse may cause injury, etc.



Compulsory

Battery

Danger

Read battery label to confirm battery type; use/dispose of battery accordingly.

Display	Battery type
Li-ion00	Lithium-ion

Do not dispose of battery in fire.

Battery may leak, burst, ignite, etc.



Prohibited

Do not damage battery (with a nail, hammer, foot, etc.) or subject it to strong impacts or shocks.

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.



Prohibited

Keep wire or other metal objects away from battery terminals. Do not carry/store battery with conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.).

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.



Prohibited

If battery fluid gets in eyes, do not rub; rinse with water and consult a doctor immediately.

Eyes may be severely damaged.



Compulsory

Warning

If battery fluid contacts skin or clothes, discontinue handset use and rinse with clean water immediately.

May cause skin damage.



Compulsory

If battery does not charge properly, stop trying.

Battery may leak, overheat, burst, ignite, etc.



Compulsory

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery, being careful not to burn or injure yourself. Avoid fire sources.

Continued use may cause battery to leak, overheat, burst, ignite, etc.



Compulsory

 **Caution**

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse.

Tape over battery terminals before disposal. Take battery to a SoftBank Shop, or follow the local disposal regulations.



Prohibited

Handset

 **Warning**

Do not use handset while driving or cycling.

Accidents may result.

Phone use while driving or cycling is prohibited by law and subject to a penalty; park in a legal parking space beforehand.



Prohibited

Turn handset power off near electronic devices that employ high precision control systems or weak signals.

May cause electronic malfunctions, etc. Be especially careful near the following devices:

Hearing aids, implanted pacemakers/defibrillators and other electronic medical equipment; fire alarms, automatic doors and other automatic control devices.



Compulsory

Because handset radio waves may impair aircraft operations, please power off handset while aboard.

When handset use aboard aircraft is allowed, please follow instructions of airline personnel.



Compulsory

Users with a heart condition should adjust ringtone Vibration and Volume as needed.

May cause heart damage.



Compulsory

If thunder is heard while outdoors, turn power off; find cover.

There is a risk of lightning strike or electric shock.



Compulsory

Do not look into Infrared Port during infrared transmissions.

Eyesight may be affected.



Prohibited

Do not use Mobile Light near people's faces.

May cause injury such as loss of eyesight.

Avoid getting too close to infants when taking photos.

Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.



Prohibited

 **Caution**

Do not use handset when it may affect a vehicle's electronic equipment.

Handset use inside vehicles may cause electronic equipment to malfunction, resulting in accidents.



Prohibited

If you experience any skin irritation associated with handset use, discontinue handset use and consult a doctor.



Compulsory

Metal and other materials may cause skin irritation, rashes, or itchiness depending on your physical condition.

Parts	Materials & Finishing
Housing (front)	PC/SPRAY
Housing (rear)	PC/SPRAY
Call Key/Clear Key/End Key	PC/SPRAY
Side Key	PC + POLYURETHANE/SPRAY
Battery Cover	PC/SPRAY
Stand	CU ALLOY/SPRAY

Keep handset away from magnetic cards, etc.

Data on bank cards, credit cards, telephone cards, floppy disks, etc. may be lost.



Prohibited

Do not swing handset by strap.

May harm self or others; strap may break, resulting in injury or handset malfunction/breakage.



Prohibited

Handset may become hot while in use, especially at high temperature.

Prolonged contact with skin may cause burn injuries.



Compulsory

Always maintain some distance from Speaker while ringtones, music or other handset sounds play.

Excessive volume may damage ears or hearing.



Prohibited

When view Digital TV, be sure to view in place with enough light and view from distance, otherwise it may cause decrease in vision.



Compulsory

Moderate handset volume when using Earphone Microphone.

Excessive volume may damage ears or hearing.



Compulsory

If Display is cracked, do not touch Display.

It may cause injury.



Prohibited

Do not touch Display with excessive force.

Handset responds to a light touch. Pressing Display with excessive force may cause Display damage.



Prohibited

Charger (Sold Separately)



Warning

Do not cover/wrap Charger while charging.

Charger may overheat, resulting in fire, malfunction, etc.



Prohibited

Use only the specified voltage.

Non-specified voltages may cause fire, malfunction, etc.

- AC Charger (only for household wall sockets): AC 100V-240V Input



Prohibited

Leave Charger unplugged during periods of disuse; grasp plug to disconnect it.

May cause electric shock, fire or malfunction.



Disconnect
Power Source

If liquids (water, pet urine, etc.) seep inside Charger, grasp plug from outlet and disconnect Charger immediately.

May cause electric shock, smoke/fire.



Disconnect
Power Source

If plug is dusty, grasp it and disconnect Charger, then clean with a dry cloth.

Fire may result.



Compulsory

Plug Charger firmly into the outlet, keeping the plug and Charger charging terminals away from conductive material (pencil lead, metallic strip, metal jewelry, etc.).

May cause electric shock, short circuit, fire, etc.



Compulsory

Do not touch Charger plug with wet hands.

May cause electric shock or malfunction, etc.



Do Not Use
Wet Hands

Do not touch Charger if thunder is heard.

May cause electric shock, etc.



Prohibited

Caution

Grasp plug and disconnect Charger from outlet before cleaning.

May cause electric shock, etc.



Disconnect
Power Source

Always grasp plug (not cord) to disconnect Charger from outlet.

Pulling the plug by cord may damage cord, causing electric shock, fire, etc.



Compulsory

Do not subject Charger (sold separately) to strong shocks or impacts while it is plugged into the outlet.

May cause malfunction or injury.



Prohibited

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).



Warning

Persons with implanted pacemaker/defibrillator should keep handset more than 22 cm away.

Radio waves may interfere with implanted pacemakers or defibrillators.



Compulsory

If you intend to use electronic medical equipment other than implanted pacemaker/defibrillator outside medical facilities, consult the vendor on radio wave effects.

Radio waves may interfere with electronic medical equipment.



Compulsory

Observe these rules inside medical facilities to avoid effects of radio waves on electronic medical equipment:

- Do not enter an operating room or an Intensive or Coronary Care Unit while carrying a handset.
- Keep handset off in hospitals; cancel the setting that turns handset power on automatically (alarm, etc.) beforehand.
- Even in lobbies or other places where handset use is permitted, keep handset off near electronic medical equipment.
- Obey medical facility rules on mobile phone use.



Compulsory

Turn handset off in crowds or trains where persons with implanted pacemaker/defibrillator may be near; cancel the setting that turns handset power on automatically (alarm, etc.) beforehand.

Radio waves may interfere with implanted pacemakers or defibrillators causing such devices to malfunction.



Compulsory

General Notes

General Use

- SoftBank is not liable for any damage resulting from accidental loss/alteration of any data on handset/Memory Card. Please keep separate records of Phonebook entries, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels, or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**
Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.
- **Eavesdropping**
Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Aboard Aircraft

- Because handset radio waves may impair aircraft operations, please power off handset while aboard.
When handset use aboard aircraft is allowed, please follow instructions of airline personnel.

Function Usage Limits

- The following functions are disabled after handset upgrade/replacement or service cancellation:
 - Camera
 - Media Player
 - TV etc.
- After a long period of disuse, these functions may be unusable; establish a Network connection to restore usability.

Handset Care

- Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
 - Keep handset away from precipitation.
 - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
 - Avoid placing handset in damp places (Restrooms, bath/shower rooms, etc.).
 - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
 - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank is not liable for any resulting damage.
- Use handset between 5°C - 40°C . Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing the lens to direct sunlight may damage the color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with a dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow, or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching Display.

- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging Display.
- When using headphones, moderate the volume to avoid sound bleed.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided. This may cause malfunction or injury.
 - Do not sit down with handset in a pocket.
 - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Insert only specified devices into Headphone Port. Malfunction or damage may result.
- Always turn power off before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.
- If protective films, or other such accessories are applied to Touch Panel, it might not function correctly.
- If aftermarket films are applied to Touch Panel, it might not respond well.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials for copyright holders. Duplicated material is limited to private use only.

Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

The software contained in 941SC is copyrighted material; copyright, moral right, and other related rights are protected by copyright laws. Do not copy, modify, alter, disassemble, decompile, or reverse-engineer the software, and do not separate it from hardware in whole or part.

SAR Certification

9415C meets the technical standards of Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC) regarding radio wave absorption by a human body.

These technical standards are established on a scientific basis to prevent radio waves emitted from wireless devices such as mobile phones that are used close to human head from affecting human health. These standards assure that the SAR (Specific Absorption Rate), an indicator of the amount of average energy absorbed in the side of a human head, must not exceed the permissive value of 2W/kg*. This value includes a substantial safety margin designated to assure the safety of all persons, regardless of age and physical size. The value is equal to the international guideline recommended by International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) that has a cooperative relationship with the World Health Organization (WHO). The highest SAR value for 9415C is 0.212 W/kg. This value is obtained in accordance with the MIC testing procedure with the mobile phone transmitting at its highest permitted power level. While there may be differences in the SAR levels depending on phones, they all meet the MIC's permissible value. Because mobile phones are designed to employ the minimum power level required for the communication with the base station, the SAR of the phone during a call is usually below the maximum value.

For further information about SAR, please see the following websites:

MIC: <http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

ARIB: <http://www.arib-emf.org/>

- * The guideline is defined by relevant laws and regulations associated with the Radio Law (No. 2 of Article 14 of Ordinance Regulating Radio Equipment).

SoftBank's Body SAR Policy

- * Body SAR: The SAR value at the maximum transmission power when continuously talking with handset placed on the body and using earphone-microphone.
- ** Specific Absorption Rate (SAR): The value measured when having talked continuously for 6 minutes.
- *** Placement on the body: Measurements are taken with the rear of handset facing the body at a distance of 1.5 cm as the ordinary handset position. In order to comply with radio frequency exposure requirements, use an accessory (e.g. belt clip, holster) that does not contain metallic parts to maintain a 1.5 cm separation between the body and handset.

For further information, see the following SoftBank website:

<http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html>

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.95 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.25 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/fccid> after searching on FCC ID A3LSWD941SC.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at <http://www.phonefacts.net>.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.957 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.258 W/kg.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

- * The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.